

資料 3 - 1

生駒泌尿器科

病床削減支援給付金 ① 生駒泌尿器科

医療機関名	所在地(住所)		
生駒泌尿器科	鹿児島市小松原二丁目2番13号		
開設者名	事務担当者		
生駒 道明	所属・役職・氏名	事務長 南 盛人	
	電話番号	099-260-7300	
	メールアドレス	ggvn4tn9k@cap.ocn.ne.jp	

■事業計画額算定シート

病床を削減した日 (又は削減予定日)	令和3年3月31日
-----------------------	-----------

1	平成30年度病床機能報告における稼働病床数(※1)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
			14				5	19

※1 平成30年度病床機能報告時から令和元年度末までに病床削減を行っている場合は、令和2年4月1日時点における許可病床数を記入すること。

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	病床削減後の許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
			12					12

3	回復期又は介護医療院へ転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

4	削減病床数(許可病床ベース)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
		0	2	0	0	5	7	2

5	平成30年度病床機能報告における許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
			19					19

6	平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人)※3	高度急性期	急性期	慢性期	合計
			2,903		2,903

※3 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

7	対象3区分の病床稼働率	42%
---	-------------	-----

8	一日平均実働病床数	5
---	-----------	---

9	削減前の対象3区分の稼働病床数から一日平均実働病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		1,140	2,280

10	一日平均実働病床数から削減後の対象3区分の許可病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	0

11	事業計画額(千円)	2,280
----	-----------	-------

要件 審査	90%削減チェック	○
----------	-----------	---

- 有床診療所票では、病床数、人員配置、入院患者数等の一定の項目に限って必須の報告項目となり、それ以外の項目については任意の報告となります。なお、必須の報告項目は、記入欄を太枠で囲っています。
- 任意の報告項目についてご報告いただく場合には、当該項目のすべての設間にご記入ください。

1. 設置主体【平成30年7月1日時点】

1. 厚生労働省	2. 独立行政法人国立病院機構	3. 国立大学法人	4. 独立行政法人労働者健康安全機構
5. 国立高度専門医療研究センター	6. 独立行政法人地域医療機能推進機構	7. その他(国)	
8. 都道府県	9. 市町村	10. 地方独立行政法人	11. 日赤
12. 済生会	13. 北海道社会事業協会		
14. 厚生連	15. 国民健康保険団体連合会	16. 健康保険組合及びその連合会	
17. 共済組合及びその連合会	18. 国民健康保険組合	19. 公益法人	20. 医療法人
21. 私立学校法人	22. 社会福祉法人	23. 医療生協	24. 会社
25. その他の法人	26. 個人		

該当番号⇒(5)

2. 貴院の【平成30年7月1日時点】における地方厚生(支)局長への入院基本料の届出の有無、【平成29年7月1日～平成30年6月30日】の過去1年間における稼働病床の有無について、ご記入ください。

① 平成30年7月1日時点での地方厚生(支)局長への入院基本料の届出の有無	①. 有り	2. 無し	該当番号⇒(6)	<input type="text" value="1"/>
② 過去1年間(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の稼働病床の有無	①. 有り	2. 無し	該当番号⇒(7)	<input type="text" value="1"/>

◎上記の2.-①、2.-②の回答がいずれも「2. 無し」に該当する場合は、以下の必須項目のご記入は不要となります。
 ・「7.職員数」のうち、「②入院部門」の項目
 ・「9.入院患者数の状況」の項目

3. 医療機能【医療機能の選択にあたっての考え方については、「平成30年度病床機能報告マニュアル①」を参照してください。】

① 2018(平成30)年7月1日時点の機能

1. 高度急性期機能	②. 急性期機能	3. 回復期機能	4. 慢性期機能	(8)	<input type="text" value="2"/>
5. 休棟中(今後再開する予定)	6. 休棟中(今後廃止する予定)				

② 2025年7月1日時点の機能

1. 高度急性期機能	②. 急性期機能	3. 回復期機能	4. 慢性期機能	(9)	<input type="text" value="2"/>
5. 休棟予定	6. 廃止予定	7. 介護保険施設等へ移行予定			

③上記②で「7. 介護保険施設等へ移行予定」を選択した場合、2025年7月1日時点の移行予定先について選択してください。

1. 介護医療院	2. 介護老人保健施設	3. 介護老人福祉施設	4. 1～3以外の介護サービス	(10)	<input type="text"/>
----------	-------------	-------------	-----------------	------	----------------------



上記項目3において「2025年7月1日時点の機能の実現」に向けて、それ以前に変更予定がある場合は、下のチェックボックスにチェックを入れて、変更後の機能、その変更予定年月を入力してください。(新規)

2025年7月1日迄に変更予定あり ⇒ 変更後の機能⇒(11) 変更予定年月 西暦 年 月

4. 有床診療所の病床の役割

①. 病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	②. 専門医療を担って病院の役割を補完する機能
③. 緊急時に対応する機能	4. 在宅医療の拠点としての機能
5. 終末期医療を担う機能	6. いずれの機能にも該当しない
7. 休棟中	

該当番号を5つまで⇒(12)

5. 許可病床数【平成30年7月1日時点】・稼働病床数【平成29年7月1日～平成30年6月30日】

※有床診療所の病床数は、19床以下とされています。

		許可病床数	稼働病床数	過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数	2025年7月1日時点の予定病床数(新規)
① 一般病床	(13)	19床	14床	5床	19床
上記①のうち、医療法上の経過措置に該当する病床(平成13年3月1日時点で既に開設許可を受けている一般病床であって、6.3㎡/床(1人部屋)・4.3㎡/床(その他)となっている病床数)		19床			
② 療養病床	(15)	0床	0床	0床	0床
上記②のうち、医療療養病床		0床	0床	0床	0床
上記②のうち、介護療養病床		0床	0床	0床	0床

※過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数は、許可病床数から、過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数を差し引いて算出してください。

上記において、「稼働病床数」の合計が0床である場合には、その理由をご記入ください。【自由記入欄】(条件付必須)

6. 一般病床・療養病床で算定する入院基本料別の届出病床数【平成30年7月1日時点】

① 有床診療所入院基本料	(18)	19床
② 有床診療所療養病床入院基本料	(19)	0床
③ 介護療養病床における診療所型介護療養施設サービス費等	(20)	0床
診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なし 《許可病床数(13)(15)の合計から届出病床数(18)(19)(20)の合計を差し引いた値》		(21) 0床

7. 職員数【平成30年7月1日時点】

※各部門の職員とは、専ら当該部門で業務を行っている(勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する)職員をいいます。複数の部門で業務を行い、当該部門での勤務が通常の勤務時間の8割未満となる場合には、「外来部門の職員数」に計上してください。

※「①施設全体の職員数」と「②入院部門の職員数」、「③手術室の職員数」、「④外来部門の職員数」、「⑤その他の部門の職員数」の合計数が一致するように計上し、各部門間において職員数の重複がないようご記入ください。

※2つの部門を兼務している職員については、専ら当該部署で業務を行っている(勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する)職員数を計上し、それ以外は外来部門に計上してください。

施設全体の職員数

	常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)			常勤 従事者の実人数		非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)	
		人		人			人		人
(22) 医師	0	2	0	0	(23) 歯科医師	0	0	0	0
(24) 看護師	0	4	0	0	(25) 准看護師	0	1	0	0
(26) 看護補助者	0	0	0	0	(27) 助産師	0	0	0	0
(28) 理学療法士	0	0	0	0	(29) 作業療法士	0	0	0	0
(30) 言語聴覚士	0	0	0	0	(31) 薬剤師	0	0	0	0
(32) 診療放射線技師	0	0	0	0	(33) 臨床検査技師	0	0	0	0
(34) 臨床工学技士	0	0	0	0	(35) 管理栄養士	0	0	0	3

※(22)～(35)の記入欄のうち、空白のものはゼロとみなします。

⑤ その他の部門の職員数（透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、退院調整部門、訪問看護部門、医事部門等）

※透析室、外来化学療法室、放射線照射外来室、退院調整部門、薬剤部門、リハビリ部門、訪問看護部門、医事部門、管理部門、健診（人間ドック）部門等

	常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)		常勤 従事者の実人数	非常勤 従事者の常勤換算 (小数点第2位四捨五入)
(67) 看護師	0	0.0	(68) 准看護師	2	0.0
(69) 看護補助者	0	0.0	(70) 助産師	0	0.0
(71) 理学療法士	0	0.0	(72) 作業療法士	0	0.0
(73) 言語聴覚士	0	0.0	(74) 薬剤師	0	0.0
(75) 臨床工学技士	0	0.0	(76) 管理栄養士	0	0.0

※(67)～(76)の記入欄のうち、ブランクのものはゼロとみなします。

8. 主とする診療科【平成30年7月1日時点】 ※診療科が貴院の診療科名と一致しない場合には、最も近い診療科をご選択ください。

※該当する診療科がない場合は、読み替えが可能な最も近い診療科をご選択ください。なお、読み替えが困難な場合は、内科または外科をご選択ください。

1. 内科	2. 呼吸器内科	3. 循環器内科	4. 消化器内科（胃腸内科）
5. 腎臓内科	6. 神経内科	7. 糖尿病内科（代謝内科）	8. 血液内科
9. 皮膚科	10. アレルギー科	11. リウマチ科	12. 感染症内科
13. 小児科	14. 精神科	15. 心療内科	16. 外科
17. 呼吸器外科	18. 心臓血管外科	19. 乳腺外科	20. 気管食道外科
21. 消化器外科（胃腸外科）	22. 泌尿器科	23. 肛門外科	24. 脳神経外科
25. 整形外科	26. 形成外科	27. 美容外科	28. 眼科
29. 耳鼻咽喉科	30. 小児外科	31. 産婦人科	32. 産科
33. 婦人科	34. リハビリテーション科	35. 放射線科	36. 麻酔科
37. 病理診断科	38. 臨床検査科	39. 救急科	40. 歯科
41. 矯正歯科	42. 小児歯科	43. 歯科口腔外科	44. 複数の診療科で活用

(77) 該当番号 → 「44」を選択した場合、当該病棟の患者を多く診ている順に上位3つまで ⇒

上位1位	上位2位	上位3位
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

9. 入院患者数の状況【平成29年7月1日～平成30年6月30日の1年間】

※一般病床・療養病床に入院するショートステイ利用者、正常な妊産婦、院内で出生した正常な新生児、生母の入院に伴って入院した健康な新生児又は乳児、公費負担医療、労災保険制度や労働福祉事業としての医療、自賠責、治験、人間ドック、母体保護法、その他の自由診療等での入院者、介護療養病床への入院患者についても、新規入院患者数・在院患者延べ数・退院患者数に数えてください。

※1入院1単位と考え、入院期間が通算される再入院患者等についても新規入院患者・退院患者として数えてください。

新規入院患者数【平成29年7月1日～平成30年6月30日の1年間】	(78)	<input type="text" value="112"/>	人
上記①のうち、急変による入院患者	(79)	<input type="text"/>	人
上記①のうち、他の急性期医療を担う病院の一般病棟からの受入割合（小数点第2位を四捨五入）	(80)	<input type="text"/>	%
② 在院患者延べ数【平成29年7月1日～平成30年6月30日の1年間】	(81)	<input type="text" value="2903"/>	人
③ 退院患者数【平成29年7月1日～平成30年6月30日の1年間】	(82)	<input type="text" value="113"/>	人

※(78)～(82)の記入欄のうち、ブランクのものはゼロとみなします。